社会福祉法人南三陸町社会福祉協議会
令和３年度事業報告

1．事業総括

令和３年度基本方針に「誰もが安心して暮らすことのできる町」を掲げ実現するため関係機関、地域住民とともに連携協力し一体となって推進した。

法人運営事業については、役員等の改選が行われ新しい役員１名、評議員６名を迎え入れ組織運営の強化を図った。また、施設整備等の改修に備え計画どおりの積み立てを行うことができ、今後においても計画的に積立できるよう最小経費で最大の効果をあげられるよう、スキルに格差をなくすよう職員一丸となり取り組んでいきたい。

環境整備については、職員と面談を行い人間関係、仕事関係への悩みを伺い解決に向け努力した。また、ハラスメント対策として設置した相談窓口が機能し、早期解決を図ることができた。賃金改善としては臨時職員等の時給を宮城県における最低賃金改定に伴い引き上げ、通勤手当、扶養手当、特別休暇を職員に準じて改正を行い、昨年度まで２桁台を推移していた離職率も３％台までになり離職防止に努めた。

介護事業については、事業全体で１０名を採用し事業の充実を図ることができたが、通所介護事業においてはサービス提供時間を短縮したこと、稼働率（平均７３．５％）が思うように伸びなかったこと収入増には繋がらなかった。訪問介護事業においては１名増員し収入増を図ることができたが、職員一人当たりの収入換算は昨年度より伸び悩んだ。居宅介護支援事業も同様年度途中から１名８月から採用したが収入増までには繋がらなかった。支出については、令和３年度に介護職員慰労補助金がなかったことにより支出額が減少したものの例年並みとなった。また、ジャパンゴルフツアー選手会様から車１台寄贈を受け訪問介護事業の足として積極的に活用した。

地域福祉事業については、コロナ禍の状況の中で神経を研ぎすましながら、繋がることへの大切さを地域活動をとおし取り組むことができた。コミュニティーの醸成を目的とし、団体等からの寄附金を活用して６０にも迫る団体が「あったか切符（弁当）」を積極的に活用したことによりサービスを提供する復興を目指して事業展開する地元業者（協力店７店舗）に勇気と希望を与えることができた。また、グループ同士の交流も深まり、人と人との繋がりが増し、支え合って生きるきっかけになったとの声も聞かれた。また、ボランティア保険加入者も昨年度対比で１００名を超える人員が加入し、ほっとバンク登録者も２００人越えし、支え合いながら活躍できる地域コミュニティ育成を図った。宮城県共同募金会からは車の寄贈をうけ地域福祉の足として活躍した。

２．主な取り組み

１．環境整備

（１）係長会議を定期的に開催し、コロナ禍で事業展開を図る全職員の心身の確認・ケア等、予防・対策に努めた。

（２）地域福祉会議により、各事業の運営状況、現状把握・共有、方向性等を検討、効率的な事業運営の基盤づくりに努めた。

（３）新規採用職員研修は、感染予防を徹底しながら実施日程を短縮し実施、社協事業への理解、職員としての意識づけを図った。

（４）職員全体研修会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、外部研修会に様々な制限がかかり研修参加の機会が減った事などを考慮し、年２回の実施から毎月１回の実施へ変更、コロナ感染状況により中止した月もあったが感染予防対策を徹底しながら開催し、全職員の意識統一・共通理解を目指すとともにスキルアップ、質の向上に努めた。また、心身ケアに関する内容も取り入れ、心身ともに意欲的に働ける環境づくりに努めた。

（５）介護職員の資格取得支援として補助金を活用し、雇用している無資格の職員に業務に従事しながら勤務の一部として、介護資格を取得させることにより、介護分野の人材の確保・育成及び定着を図った。

２．介護保険事業の効率的な運営

（１）定期的に管理者会議（業務改善会議）を開催し、各事業所との情報交換及び共有を図り、質の向上・効率的な運営に努めた。

（２）感染予防対策の徹底、定期的な状況確認・対応方法等細部に渡っての周知、管理に努めた。

（３）各事業所において内部研修会を実施し、共通理解、スキルアップ、質の向上に努めた。

（４）虐待に関する学びとして、各介護保険事業所（通所介護係）において、虐待チェックシートを活用し、職員個々の言動等の振り返りや事業所全体としての対応の振り返りや改善への取組みを再確認、利用者一人ひとりに気持ちよく利用して頂けるよう努めた。

３．地域支え合い活動の推進

（１）結の里を拠点に結の里運営協議会が中心となり、感染予防対策を徹底しながら、コロナ禍においても出来る地域交流、世代間交流とコミュニティづくり事業の推進を図った。

４．ボランティア活動の推進

（１）共にささえあう地域づくりを推進するため、ほっとバンク（登録者２０２人）、民生委員・児童委員、町内会などの自治会組織、福祉関係機関、団体等と積極的に連携・協働して地域福祉活動を展開した。

３．重点事業取り組み

３－１　法人運営事業　総務課総務係

事業全体の経営資源を適切に管理、総合的かつ計画的な事業執行を行うため経営基盤の充実を図り、組織管理、事業運営の基盤づくりに努めた。

地域に開かれた組織として、運営の透明性と中立性、公平さの確保を図るとともに事業展開にあっては住民主体、住民参加をその基本とし取り組んだ。

（1）理事会開催状況

月　日	場　　所	内　　容	出席数 理事	出席数 監事
6月8日	志津川東 復興住宅 第２集会所	・会長専決事項 ・令和２年度事業報告 ・令和２年度一般会計収入支出決算 ・令和３年度一般会計収入支出補正予算 ・新評議員候補者の推薦 ・評議員会の日時・場所並びに議題、議案の決定	８名	３名
6月25日	志津川東 復興住宅 第２集会所	・会長・副会長の選定 ・苦情解決に関する規程の一部を改正する規程制定 ・苦情解決に関する規程に基づく第三者委員の選任	８名	２名
8月11日	志津川 東復興住宅 第２集会所	・居宅介護支援事業運営規程の一部を改正する規程制定 ・職員就業規程の一部を改正する規程制定 ・臨時及びパート雇用職員就業規程の一部を改正する規程制定 ・嘱託職員就業規程の一部を改正する規程制定 ・育児及び介護休業等に関する規程の一部を改正する規程制定	８名	２名
11月29日	総合ケア センター 多目的室	・会長専決事項 ・会長の業務報告 ・職員給与規程の一部を改正する規程制定 ・デイサービスセンターうたつ指定通所介護事業運営規程の一部を改正する規程制定 ・デイサービスセンターいりや地域密着型通所介護事業運営規程の一部を改正する規程制定 ・デイサービスセンターとぐら地域密着型通所	８名	２名

		介護事業運営規程の一部を改正する規程制定		
3月15日	志津川東 復興住宅 第２集会所	・会長の専決事項 ・会長の業務報告 ・臨時及びパート雇用職員就業規程の一部を改正する規程制定 ・嘱託職員就業規程の一部を改正する規程制定 ・育児及び介護休業等に関する規程の一部を改正する規程制定 ・職員倫理規程制定 ・職員研修実施要綱制定 ・南三陸町受託事業に係る運転資金の借入 ・役員等賠償責任保険契約締結 ・令和３年度一般会計収入支出補正予算 ・令和４年度事業計画 ・令和４年度一般会計収入支出予算 ・評議員会の日時･場所並びに議題、議案の決定	８名	１名

（２）評議員会開催状況

月　日	場　　所	内　　容	出席数 評議員	出席数 監事
6月24日	志津川 東復興住宅 第２集会所	・令和２年度事業報告 ・令和２年度一般会計収入支出決算 ・令和３年度一般会計収入支出補正予算 ・役員の任期満了に伴う次期役員の選任	１２名	３名
3月24日	志津川 東復興住宅 第２集会所	・令和３年度一般会計収入支出補正予算 ・令和４年度事業計画 ・令和４年度一般会計収入支出予算	１３名	なし

（３）監査会開催状況

月　日	場　　所	内　　容	出席数
5月25日	志津川東復興住宅 第２集会所	・令和２年度事業報告 ・令和２年度一般会計収入支出決算	２名

（４）月別事業

４月

日	内　　容	場　　所
１	辞令交付（採用：パート職員２名・他）	社協事務局他
５	声の広報	総合ケアセンター２階相談室
	第１回社協職員全体研修会（１日目）	志津川東復興住宅第２集会所
６	第１回社協職員全体研修会（２日目）	志津川東復興住宅第２集会所
１２	新任職員研修会	志津川東復興住宅第２集会所
１４	係長会議	志津川東復興住宅第２集会所
１９	第１回広報委員会	志津川東復興住宅第２集会所
２１	第１回結の里運営協議会	志津川東復興住宅第２集会所

５月

日	内　　容	場　　所
６	声の広報	志津川東復興住宅第２集会所
１２	係長会議	志津川東復興住宅第２集会所
１７	令和２年度 LSA 事業ヒアリング（県２名　町２名）	総合ケアセンター１階相談室
１７	南三陸町遺族会監事会	志津川東復興住宅第２集会所
１８	南三陸町身体障害者福祉協会監事会	志津川東復興住宅第２集会所
１９	安全運転管理者講習会	ベイサイドアリーナ
	ボランティア保険事務説明会（リモート）	結の里
２０	地域福祉会議	志津川東復興住宅第２集会所
	第２回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第２集会所
２１	南三陸町老人クラブ連合会監事会	志津川東復興住宅第２集会所
２５	社協第１回監査会	志津川東復興住宅第２集会所
２６	介護職員面接（１名）	総合ケアセンター２階相談室
	愛の手をつなぐ親の会監事会	志津川東復興住宅第２集会所

６月

日	内　　容	場　　所
１	辞令交付（採用：パート職員１名）	社協事務局
２	声の広報	結の里
８	社協第１回理事会	志津川東復興住宅第２集会所
９	いきいき百歳体操打合せ	包括事務所
１５	社協第１回評議員選任・解任委員会	志津川東復興住宅第２集会所
１６	第３回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第２集会所
１７	係長会議	志津川東復興住宅第２集会所

	日常生活自立支援事業判定会議	気仙沼市社会福祉協議会
２１	介護支援専門員面接（１名）	老人福祉センター
２２	介護福祉課管理者会議	移動車内（ワクチン接種）
	住宅全焼により火災見舞い	桜沢災害公営住宅
２４	社協第１回評議員会	志津川東復興住宅第２集会所
２５	社協第２回理事会	志津川東復興住宅第２集会所
３０	職員全体研修会打合せ	結の里

７月

日	内　　容	場　　所
２	声の広報	結の里　相談室
９	いきいき百歳体操打合せ	総合ケアセンターいきいきルーム
１４	第４回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第２集会所
１５	地域福祉会議	志津川東復興住宅第２集会所
１６	前社協評議員へ感謝状贈呈	前評議員宅
	いきいき百歳体操打合せ	総合ケアセンターいきいきルーム
	係長会議	志津川東復興住宅第２集会所
１９	第２回広報委員会　委嘱状交付	志津川東復興住宅第２集会所
	看護員面接（１名）	老人福祉センター
２０	介護福祉課管理者会議	移動車内（ワクチン接種）
	老人福祉センター周辺草刈作業	
２１	市町村社協会長事務局長会議　（オンライン）	社協事務局
２６	前社協監事へ感謝状贈呈	前監事宅
２７	職員面談	老人福祉センター、結の里
２８	前社協評議員へ感謝状贈呈	前評議員宅
	日常生活自立支援事業地域別研修会 生活支援員新規採用者オリエンテーション	志津川東復興住宅第２集会所

８月

日	内　　容	場　　所
2	辞令交付（８月１日付け採用：嘱託２名、異動２名）	社協事務局
	日常生活自立支援事業　生活支援員１名採用	
	声の広報	結の里
4	新規採用職員研修会　（嘱託２名）	志津川東復興住宅第２集会所
5	軽車輌贈呈式（ジャパンゴルフツアー選手会）	仙台市
6	町老連会長会議	志津川東復興住宅第２集会所
	市町村共同募金委員会事務局長会議（オンライン）	社協事務局

１１	社協第３回理事会	志津川東復興住宅第２集会所
１３	職員面談	老人福祉センター
１７	係長会議	志津川東復興住宅第２集会所
１９	社協職員全体研修打合せ	社協事務局
２０	南三陸町戦没者追悼式準備	ベイサイドアリーナ文化ホール
２１	南三陸町戦没者追悼式（自由献花）	ベイサイドアリーナ文化ホール
２２	２４時間テレビチャリティー募金活動	結の里
２６	職員面談	老人福祉センター
２６	レクリエーション研修会（オンライン）	結の里
２７	介護福祉課管理者会議	志津川東復興住宅第２集会所
３０	係長会議	志津川東復興住宅第２集会所
	老人クラブグラウンドゴルフ大会実行委員会	志津川東復興住宅第２集会所

９月

日	内　　容	場　　所
1	災害時情報伝達訓練（EXCEL シートでの情報共有）	社協事務局
	声の広報	結の里
	職員面談	志津川東復興住宅第２集会所
2	職員面談	志津川東復興住宅第２集会所
3	職員面談	志津川東復興住宅第２集会所
6	職員面談	志津川東復興住宅第２集会所
7	職員面談	志津川東復興住宅第２集会所
8	職員面談	志津川東復興住宅第２集会所
	岡原先生会計指導（インボイス制度説明）	社協事務局（オンライン）
9	職員面談	志津川東復興住宅第２集会所
１０	災害支援会議	結の里（オンライン）
	日常生活自立支援事業判定会議	気仙沼市社会福祉協議会
１３	職員面談	志津川東復興住宅第２集会所
１６	職員面談	入谷デイサービスセンター
	社協会費依頼（区長配布同時）	
	事務局感染予防研修	事務局
２１	係長会議	志津川東復興住宅第２集会所
２２	地域福祉会議	志津川東復興住宅第２集会所
２４	介護福祉課管理者会議	志津川東復興住宅第２集会所
２７	職員面談	志津川東復興住宅第２集会所
３０	職員面談	老人福祉センター

１０月

日	内　　容	場　　所
1	声の広報	結の里
4	職員面談	老人福祉センター
6	総合ケアセンター環境整備（草刈）	総合ケアセンター周囲
7	老人クラブグラウンドゴルフ大会実行委員会	志津川東復興住宅第２集会所
１１	職員面談	志津川東復興住宅第２集会所
１３	老人クラブグラウンドゴルフ大会準備	松原公園グラウンド
１４	老人クラブグラウンドゴルフ大会	松原公園グラウンド：参加 61 名
	いきいき百歳体操打合せ	包括支援センター
１５	赤い羽根共同募金依頼（区長配布と同時）	
１８	社協職員全体研修打合せ	社協事務局
	係長会議	志津川東復興住宅第２集会所
１９	走らない大運動会	中央広場
２０	第３回広報委員会	志津川東復興住宅第２集会所
	シニアスポーツ大会：開催途中雨により中止	富谷
２１	令和３年度社会福祉施設等指導監査（法人運営部門）	総合ケアセンター多目的室
	第５回社協職員全体研修会	第５回社協職員全体研修会
２２	介護福祉課管理者会議	志津川東復興住宅第２集会所
２５	キャップハンディ体験会	伊里前小学校３学年
２７	介護職員面接（１名）	志津川東復興住宅第２集会所
	職員面談	社協事務局
	サーモカメラ設置	各施設５か所
２９	職員健康診断	老人福祉センター

１１月

日	内　　容	場　　所
1	辞令交付（採用：パート１名）	老人福祉センター
	声の広報	結の里
	いきいき百歳体操打合せ	総合ケアセンターいきいきルーム
5	第６４回手をつなぐ育成会宮城県大会 in 名取	名取市文化会館ホール
9	防火キャラバン出発式	南三陸町役場マチドマ
１０	第２回市町村老連会長・事務局長会議	仙台市
	災害時連絡方法手引き贈呈式 （日本公衆電話会宮城支部より 400 部）	事務局
１１	第６７回宮城県社会福祉大会（受賞代表者のみ出席）	仙台市
１２	南三陸町民生委員児童委員協議会全体研修会	総合ケアセンター大会議室

１６	係長会議	総合ケアセンターいきいきルーム
	南三陸町長来所	事務局
	キャップハンディ体験打合せ：戸倉小学校	事務局
１７	介護福祉課管理者会議	総合ケアセンター多目的室
１８	第６回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第２集会所
	ライオンズクラブより簡易テント寄贈に伴う贈呈式	ベイサイドアリーナ交流ホール（会長出席）
１９	東日本大震災支援車両整備助成事業贈呈式	ネッツトヨタ仙台　日の出店
２４	地域福祉会議	志津川東復興住宅第２集会所
２９	社協第４回理事会	総合ケアセンター多目的室
	宮城県共同募金会南三陸町共同募金委員会 第１回運営委員会	総合ケアセンター多目的室
３０	いきいき百歳体操定例会議	総合ケアセンター健診室

１２月

日	内　　容	場　　所
1	辞令交付（採用：パート１名、異動等３名）	配属事業所
	声の広報	総合ケアセンター相談室
	介護職員面接（１名）	総合ケアセンター相談室
2	宮城県老人クラブ大会	名取市
3	被災者支援アドバイザー研修会　（オンライン）	総合ケアセンター相談室
6	南三陸町行政区長会議 宮城県共同募金会長表彰者へ賞状及び記念品配布	ベイサイドアリーナ（交流ホール）
	保健福祉課との新年度委託事業に係る委託料支払い時期についての打ち合わせ	総合ケアセンターいきいきルーム
7	宮城県市町村社会福祉協議会連絡会県北圏域会議	大崎市
8	キャップハンディ体験会	志津川小学校３学年
9	看護職員面接（１名）	総合ケアセンター相談室
１５	辞令交付（採用：嘱託１名）	事務局
	第７回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第２集会所
１６	係長会議	志津川東復興住宅第２集会所
１７	介護福祉課管理者会議	志津川東復興住宅第２集会所
	LSA 定期検査	総合ケアセンターいきいきルーム
２７	辞令交付（採用：臨時１名）	事務局
２８	仕事納め：全事業所まわり　会長　局長	
	南三陸町長、副町長、総務課長来所（挨拶）	事務局

令和４年１月

日	内　　容	場　　所
４	仕事始め：全事業所まわり　局長	
	辞令交付（異動２名）	各配属部署
	南三陸町新年懇談会　佐藤徳憲会長出席	ベイサイドアリーナ（交流ホール）
５	声の広報	総合ケアセンター２階多目的室
１４	第３回福祉教育学習会（オンライン）	結の里
１７	職員全体研修会打合せ	社協事務局
１８	地域福祉会議	志津川東復興住宅第２集会所
	係長会議	志津川東復興住宅第２集会所
２０	第８回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第２集会所
	交通安全祈願祭	古峯神社（南三陸町）
	リスクマネジメントセミナー（オンライン）	事務局
２１	介護福祉課管理者会議	志津川東復興住宅第２集会所
	第４回広報委員会	志津川東復興住宅第２集会所
２６	新任職員研修会　４名	志津川東復興住宅第２集会所
２７	介護支援専門員職員面接（１名）	老人福祉センター
	スマートモビリティワークショップ（第１回）	南三陸町役場

２月

日	内　　容	場　　所
２	声の広報	志津川東復興住宅第２集会所
	宮城県警察本部より感謝状授与（特殊詐欺防止に協力）	社協事務局
９	地域共生社会推進会議（オンライン）	社協事務局
１４	BCP を学ぶ研修会（オンライン）	社協事務局
１６	係長会議	志津川東復興住宅第２集会所
	災害支援連絡会議（オンライン）	社協事務局
１７	地域公共交通会議	南三陸町役場
１８	介護福祉課管理者会議	居宅介護支援事業所
	スマートモビリティワークショップ（第２回）	南三陸町役場

３月

日	内　　容	場　　所
１	辞令交付（採用：パート１名）	社協事務局
	ほっとバンク研修会	志津川東復興住宅第２集会所
４	市町村社協事務局長会議（オンライン）	社協事務局
	生活福祉資金担当者会議（オンライン）	社協事務局

１０	日常生活自立支援事業現地調査	社協事務局
１４	係長会議	志津川東復興住宅第２集会所
１５	社協第５回理事会	志津川東復興住宅第２集会所
１６	地域福祉会議	志津川東復興住宅第２集会所
１７	第９回社協職員全体研修会	老人福祉センター教養娯楽室
	福島県沖地震に伴う各施設状況確認	空調関係被害
１８	介護福祉課管理者会議	志津川東復興住宅第２集会所
２３	南三陸町交通安全対策協議会	ベイサイドアリーナ（交流ホール）
２４	社協第２回評議員会	志津川東復興住宅第２集会所
２５	正職員採用試験（受験者１名）	志津川東復興住宅第２集会所
２８	南三陸病院・総合ケアセンター南三陸合同消防訓練	総合ケアセンター南三陸
２９	令和３年度福祉活動専門員設置事業費補助金完了報告に伴うヒアリング	総合ケアセンター相談室
３０	いきいき百歳体操打合せ	総合ケアセンターいきいきルーム
	住宅火災（住居全焼）	歌津地区
３１	辞令交付（退職１名） （4/1 付け採用１名、異動２名）	志津川東復興住宅第２集会所

キャップハンディ体験会（町内小学校生徒さん）

いきいき百歳体操（町内団体の皆さん）

３年度社協職員全体研修会

月　日	研修内容	参加人数	講師等
４月 ５日 ４月 ６日	法令・事業所倫理	46 名	事務局長・課長・係長
５月 20 日	感染症対策	40 名	本会職員 看護師：佐藤千博氏
６月 16 日	認知症の病態と基本的対応の仕方について	47 名	グループホームあさみず 管理者：佐々木真弓氏
７月 14 日	メンタルヘルスマネジメント ～コミュニケーション上手になろう～	46 名	みやぎこころのケアセンター 気仙沼地域センター 髙橋智美氏・津島さおり氏
８月 18 日	新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止		
９月 16 日	新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止		各事業所ごとに実施
10 月 21 日	レクリエーション技法	43 名	日本レクリエーション協会公認指導者：粕谷義昭氏
11 月 18 日	チームアプローチ	41 名	宮城県社会福祉協議会震災復興・地域福祉部：及川一之氏
12 月 15 日	メンタルヘルスマネジメント２ ～コミュニケーション上手になろう～ （アサーション編）	40 名	みやぎこころのケアセンター 気仙沼地域センター 髙橋智美氏・津島さおり氏
１月 20 日	高齢者の食事・栄養	45 名	南三陸町健康増進係管理栄養士 山田峻輔氏
２月 16 日	新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止		
３月 17 日	リフレッシュ体操	41 名	HopKidsClub 南三陸体操教室 阿部純子氏

（５）日常生活自立支援事業（まもりーぶ）

認知症高齢者や知的障害者、精神障害者等のうち判断能力が不十分な方が地域において安心して生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、金銭管理を支援した。

利用者の体調確認や生活状況・周囲環境等些細な変化も見落としがないよう、情報交換・共有、現状把握をこまめに行った。

専門員への報告・連絡等を密に行い、変化時の早期対応に繋げ、利用者の不安軽減・消失に努めた。

●生活支援員数　　６名（令和３年８月１日生活支援員１名採用）
●新規利用者数　　２名
●利用者実人数　　１５名（２年度：実人数１３名）

月別 / 地区別	４月	５月	６月	７月	８月	９月
志津川（実人数）	8	8	9	9	8	9
歌　津（実人数）	6	6	6	6	6	6
計	１４	１４	１５	１５	１４	１５
（支援回数）	３０	２６	３４	３４	３０	３３

月別 / 地区別	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
志津川（実人数）	9	9	9	9	9	9
歌　津（実人数）	6	6	6	6	6	6
計	１５	１５	１５	１５	１５	１５
（支援回数）	３３	２９	３２	３３	２８	３８

（６）フードバンク事業（食糧銀行）

生活協同連合会と提携し福祉ニーズ等により、食品を必要としている人に対し提供、食品の無駄をなくし、有効活用を実現するとともに社会福祉に寄与するとを目的とし実施した。

【実利用人数】　１２名（２年度１２名）　　（　）内は、前年度

月別	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月
延べ利用人数	3	1	0	1	1	2	2
月別	１１月	１２月	１月	２月	３月	合　計	
延べ利用人数	2	4	2	3	5	２６（２９名）	

（７）南三陸町民生委員児童委員協議会との連携

それぞれが担当する区域で、地域住民の一員として生活上の様々な相談に応じ行政をはじめ適切な支援サービスへの「つなぎ役」としての役割をはたす南三陸町民生委員児童委員協議会と社協が実施するそれぞれの事業において、情報提供・共有、連携を密に行い、支援を必要とする方々がスムーズに利用出来るよう、また一人一人が地域の中で安心して自立した生活を継続出来るよう努めた。

（８）生活福祉資金貸付事業

低所得世帯や高齢者世帯、障害者世帯の生活を経済的に支えるとともに、各関係機関と情報共有を行いながら、その在宅福祉及び社会参加の推進を図ることを目的とした貸付を実施した。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等による収入の減少や失業された方に対し、緊急小口資金や総合支援資金の特例貸付を設け、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を実施した。

●相談・申込状況

月　　別	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月
実 人 数	8	1	7	6	1	1	0
相談件数	１０	1	8	7	1	1	0
決定件数	3	1	2	2	2	4	1

月　　別	１１月	１２月	１月	２月	３月	合　計
実 人 数	4	0	2	4	3	３７（３３）
相談件数	6	0	2	4	5	４５（４７）
決定件数	4	0	2	1	2	２４（１２）

（　　）内は、前年度

●貸付状況

種　別	貸付件数	新規貸付	滞納世帯
総合支援資金	１６（6）	１０（4）	０（0）
福祉資金	０（0）	０（0）	０（0）
教育支援資金	３（3）	０（0）	０（0）
生活復興支援金	１（1）	０（0）	１（1）
更生資金	２（2）	０（0）	２（2）
更生資金（障害者）	１（1）	０（0）	１（1）
福祉資金（住宅）	１（1）	０（0）	１（1）
緊急小口資金	４２（２６）	１４（8）	１７（１７）
合　　計	６６（４０）	２４（１２）	２２（２２）

（　　）内は、前年度

（９）生活安定資金貸付事業

低所得者に対し、小口の貸付と必要な援助指導を行い、自立更生と生活安定に寄与することを目的とする貸付制度を実施した。

●相談・申込み状況　（単位：円）

月　別	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月
相　談	0	0	1	0	0	0	0
申　込	0	0	0	0	0	0	0
決　定	0	0	0	0	0	0	0
貸付額	0	0	0	0	0	0	0
償　還	2	2	3	2	3	3	3
償還額	10,000	10,000	19,000	9,000	29,000	11,977	29,000

※令和４年３月３１日現在：　件　　円貸付中　　（　　）内は、前年度

月　別	１１月	１２月	１月	２月	３月	合　計
相　談	1	2	0	4	1	９（６）
申　込	1	0	0	0	0	１（４）
決　定	1	0	0	0	0	１（４）
貸付額	50,000	0	0	0	0	50,000（176,977）
償　還	2	2	1	2	1	２６（２７）
償還額	9,000	9,000	4,000	14,000	4,000	157,977（144,000）

（１０）南三陸町老人福祉センター管理運営事業

南三陸町老人福祉センターの管理運営業務を行った。

町民の福祉向上を図るため、感染予防対策を徹底し施設提供や高齢者に対して各種の相談に応じ、健康の増進、教養の向上やレクリエーションのための便宜等を図った。また、職員の福利厚生として年１回の職場健診のための場所の提供や研修会のための場所の提供、デイサービスセンター行事等の便宜を図った。

《利用実績》　（　　）内は、前年度

月　　別	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月
利用人数	0	0	0	0	0	0	５５
利用回数	0	0	0	0	0	0	1

月　　別	１１月	１２月	１月	２月	３月	合　計
利用人数	0	２２	0	4	４１	１２２（２３６）
利用回数	0	3	0	1	1	６（５４）

（１１）助成事業　　※園児１人／２，０００円

福祉団体等に対し、円滑な組織運営や活動を行われるように助成金を交付した。

① 入谷ひがし幼児園　　５４，０００円（園児２７名）

② あさひ幼稚園　　８０，０００円（園児４０名）

③ マリンパル保育園　　１０，０００円（園児５名）

④ 南三陸町人権擁護委員会２０，０００円

（１２）事務受託団体

①南三陸町老人クラブ連合会

②南三陸町愛の手をつなぐ親の会

③南三陸町身体障害者福祉協会

④南三陸町遺族会

⑤南三陸町共同募金委員会

※①の団体は屋外での活動（グラウンドゴルフ大会）を実施。

※②の団体は名取市を会場とした大会（手をつなぐ育成会宮城県大会）に参加。

※③、④の団体は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、行事は全て中止。

※⑤は委員会開催２回。

（１３）いきいき百歳体操事業：受託事業

専門的知見を活かした介護予防の取り組みを基に、誰もが参加できる効果的な介護予防を推進、生活地域の通いの場を活かし、住民が主体的に実施することで、見守りや支え合いなどの地域づくりに繋がるよう、南三陸町地域包括支援センター及び関係機関と連携を図りながら、住民の自主性の向上に努めた。

感染予防対策の周知を徹底し、筋力低下防止策として自宅で出来る体操について紹介を行うなどの支援を行った。また、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により体操を休止したことにより意欲が低下してしまった団体に対し、継続支援を行った。活動再開後には積極的に体験会を開催し、継続団体に対し体力測定、おロパス体操を実施した。

①事業実績

月	団 体 数	訪問回数	全 人 数	月	団 体 数	訪問回数	全 人 数
4 月	23（20）	0（0）	401（342）	10 月	24（21）	15（11）	359（371）
5 月	23（20）	9（0）	401（342）	11 月	26（22）	16（12）	381（389）
6 月	23（20）	8（20）	401（342）	12 月	27（22）	15（9）	387（392）
7 月	23（21）	14（13）	351（359）	1 月	27（23）	11（9）	387（399）
8 月	23（21）	2（9）	349（359）	2 月	27（23）	0（9）	387（396）
9 月	23（21）	0（7）	349（360）	3 月	27（23）	3（22）	383（410）

※３年度新規団体数：４団体　　（　　）内は、前年度

３－２地域福祉事業　総務課地域福祉係

❶福祉活動専門員設置事業

（１）広報活動

①社協だよりの発行

号数	発行日	印刷部数	号数	発行日	印刷部数
５８号	５月１５日	６，０００部	６０号	１１月１５日	６，０００部
５９号	８月１５日	６，０００部	６１号	２月１５日	６，０００部

②社協公式ホームページの運営

公式ホームページによる情報発信を積極的に行い、また、SNS による発信として Twitter と Facebook、YouTube による情報発信も行い、多くの方々に閲覧頂き社協 PR に努めた。

（２）南三陸町福祉健康まつり２０２１

新型コロナウイルス感染拡大の影響によりオンライン研修会及び活動チラシ５００部を作成

①6/11（金）・7/6（火）・8/30（月）オンラインミーティング　３回実施

②9/11（土）福祉健康まつりオンライン研修会

（３）視察研修受入れ（オンライン研修含む）　＊令和２年度　14 団体 211 名

NO	月　　日	団　体　名　等	オンライン	人数
1	５月２７日(木)	JICE（南三陸町観光協会経由）	○	30
2	８月１７日(火)	宮城県土木部(建設課経由)		7
3	８月２７日(金)	南三陸町移住定住センター		2
4	１０月２７日(水)	大郷町役場職員/大郷町社協職員		3
5	１０月２８日(木)	東京経済大学教授		1
6	１１月１１日(木)	岩手県議会議員		1
7	１２月７日(火)	南三陸町議会議員		1
8	１２月８日(水)	南三陸町立志津川小学校４年生		35
9	１月７日(金)	復興庁気仙沼支局		2
10	１月３１日(月)	総務省東北管区行政評価局		3
11	２月１０日(木)	UR 都市機構仙台支所	○	2
12	３月３日(木)	（株）ESCCA		2
合　　計			2	89

（４）講師等派遣事業【依頼先/開催場所】

NO	月　　日	研修名（開催場所）	オンライン	人数
1	６月１０日(木)	歌津地区見守り隊研修会		10
2	７月３日(土)	みやぎボイス 2021（仙台市）		200
3	９月３日(金)	栃木県社協災害ボランティア運営研修	○	40
4	９月１５日(水)	宮城県社協相談員スキルアップ研修①	○	15
5	９月１６日(木)	新生銀行職員全体研修会	○	20
6	９月１８日(土)	栃木県宇都宮障害者連絡協議会研修	○	66
7	９月２９日(水)	宮城県社協相談員スキルアップ研修②	○	15
8	１０月８日(金)	宮城県社協相談員スキルアップ研修③	○	15
9	１０月３０日(土)	中央大学法学部ゼミ生地域学習		17
10	１１月８日(月)	大正大学４年生地域学習		3
11	１１月１０日(水)	慶応大学４年生地域学習	○	1
12	２月１４日(月)	大正大学地域研修		5
13	２月１５日(火)	立正大学災害ボランティア研修	○	15
14	２月２６日(土)	3.11 を語りつぐ会（仙台市）		80
15	３月９日(水)	大正大学生３年生地域学習		2
16	３月１５日(火)	大正大学生２年生地域学習	○	19
17	３月２３日(水)	大正大学生１年生地域学習	○	19
合　　計				542

（５）ワークショップ等の開催　　令和２年度１８回 212 名

NO	月　　日	内容等	人数	関係団体
1	５月１２日(水)	つながるでんわ①	0	カリタス南三陸
2	５月１９日(水)	つながるでんわ②	3	カリタス南三陸
3	５月２６日(水)	つながるでんわ③	1	カリタス南三陸
4	６月２日(水)	レクレーション大会	18	志津川高校３年生
5	６月２１日(月)	木工ワークショップ	9	(一社)みちのさき
6	６月２２日(火)	草木染ワークショップ	18	カリタス南三陸
7	６月２８日(月)	カブ収穫祭	7	入谷農工房
8	８月６日(金)	ブルーベリー収穫祭	7	双苗山内邸
9	８月２５日(水)	DIY くらぶ①	6	(一社)みちのさき
10	８月２５日(水)	DIY くらぶ②	7	(一社)みちのさき
11	１０月７日(木)	寄せ植えワークショップ①	12	(一社)みちのさき
12	１０月７日(木)	寄せ植えワークショップ②	15	(一社)みちのさき
13	１０月３１日(土)	DIY くらぶ①	9	(一社)みちのさき

14	１０月３１日(土)	DIY くらぶ②	7	(一社)みちのさき
15	１１月１０日(水)	SNS　LINE 講座	4	仙台応用学情報研修 C
16	１１月１２日(金)	SNS　LINE 講座	4	仙台応用学情報研修 C
17	１１月１７日(水)	SNS　LINE 講座	4	仙台応用学情報研修 C
18	１１月１９日(金)	SNS　LINE 講座	4	仙台応用学情報研修 C
19	１１月２４日(水)	SNS　LINE 講座	4	仙台応用学情報研修 C
20	１１月２６日(金)	SNS　LINE 講座	4	仙台応用学情報研修 C
21	１１月３０日(火)	多肉植物ワークショップ①	10	(一社)みちのさき
22	１１月３０日(火)	多肉植物ワークショップ②	9	(一社)みちのさき
23	１２月２０日(月)	お正月リースづくり①	10	(一社)みちのさき
24	１２月２０日(月)	お正月リースづくり②	10	(一社)みちのさき
25	１月１８日(水)	結ペナントワークショップ	8	(一社)みちのさき
26	１月２５日(水)	結ペナントワークショップ	10	(一社)みちのさき
合　　計			200	

（６）住友理工あったか基金事業　　1,477 食×700 円＝1,033,900 円

株式会社住友理工職員による地域支援事業の一環として、本会に対しご支援をいただいた。内容については地域コミュニティづくりへのお弁当支援とし、町内弁当業者への経済効果(還元)も視野に実施した。

（７）住民支え合い事業の実施（共同募金事業）

震災後の累計額　483 団体 40,896,000 円

①対象団体：宮城県在住者５名以上で構成されている東日本大震災の被災者支援活動及び復興支援活動を行うボランティアグループや NPO 法人等の非営利団体

②助成対象活動

ア.生活支援活動　　イ.サロン活動　　ウ.季節の行事　　エ.住民交流事業

③助成金　１団体５万円を上限に申請　57 団体×50 千円＝2,850 千円助成決定

（８）虹のバトン事業

公的なサービスでは賄えない隙間事業（生活支援事業）に対し、本人及び介護支援専門員や専門職より依頼を受け実施した。

※R２年度件数　51 件

月別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
件数	9	8	9	10	5	8
月別	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
件数	7	9	8	7	10	11
合　　計				101 件		

（９）ほっとバンク事業

日常の見守りや支え合いの重要性を共有し、イベント等のボランティア活動を実施した。

〇R３年度末　登録メンバー　２０２名/年間活動数　３４７名

〇協力店　２２団体（店舗）　　※R２年度人数　２３８名

NO	日　　時	内　　容	参加人数
1	6/29(火)	～見だり・聞いたり・語ったり～	36 名
2	12/2(木)	～みんなで出来る防災について考えよう～	37 名
3	3/1(火)	～災害伝言ダイヤル１７１を体験してみよう～	22 名

（１０）ボランティアセンターの運営　　※R２年度件数　28 名

新型コロナウイルス感染拡大の影響も考慮しつつ、県外、町内ボランティアの受入れ、及び活動を他の関係機関とも連携し実施した。

＊活動例・・・南三陸町復興祈念公園除草活動等　（４５名）

〇R３年度ボランティア活動数８０名(町内６２名・町外１８名)

（１１）福祉共育事業

「普通の暮らしのしあわせ」をテーマに、福祉講話と実技を体験し、社会的に不利な条件にある立場を入れ替え相手の気持ちに寄り添う授業を実施した。

①10/25　伊里前小学校３年(２０名)

②11/22　戸倉小学校５年(１５名)

③12/8　志津川小学校３年(２５名)

（１２）救急医療情報キット「いのっちくん」事業

民生委員等と連携し心身に不安を抱える住民にキットを支給、自宅の冷蔵庫等に保管し有事に備え、また、南三陸消防署とも連携協力を継続している。

内　　容	令和２年度	令和３年度
いのっちくん所持者	494 人	506 人(12 増)
南三陸消防署活用数	31 件	38 件

（１３）その他の事業実施・研修参加状況

月　　日	研修内容【参加数】	実施場所
5 月 17 日(月)	地域支援ミーティング（１名）	南三陸町役場
6 月 30 日(水)	未来の豊かなつながりアクション（２名）	オンライン（結の里）
7 月 19 日(月)	地域支援ミーティング（１名）	南三陸町役場
7 月 27 日(火)	T-NET オンライン交流会（１名）	オンライン（結の里）
8 月 24 日(火)	ボランティアコーディネーター研修(２名)	オンライン(結の里)
9 月 7 日(火)	宮城県復興支援会議（１名）	オンライン(結の里)
9 月 22 日(金)	感染症予防研修会(１名)	結の里
9 月 27 日(月)	地域支援ミーティング(１名)	南三陸町役場
10 月 4～21 日	東北福祉大学社会福祉士実習生受入(２名)	結の里
10 月 12 日(火)	ボランティアコーディネーター研修(２名)	オンライン(結の里)
10 月 18 日(月)	みやぎ防犯キャンペーン(３名)	結の里
10 月 28 日(木)	あさひ幼稚園協働ハロウィンパレード(３名)	結の里
10 月 29 日(金)	ご長寿早押しクイズ南三陸予選会(３名)	結の里
10 月 31 日(日)	南三陸ジュニアアカデミーハロウィンパレード	結の里
11 月 13 日(土)	ご長寿早押しクイズ本選３名出演(1 名)	戸倉公民館
11 月 15 日(月)	地域支援ミーティング(１名)	総合ケアセンター南三陸
11 月 17 日(水)	宮城県子ども・若者支援地域協議会実務担当者部会(1 名)	登米市合同庁舎
11 月 19 日(金)	感染症対策研修会(１名)	結の里
11 月 25 日(木)	音健アワード 2021 授賞式（１名）	東京都千代田区
12 月 9 日(木)	西日本豪雨災害から学ぶ生活支援体制強化研修（２名）	オンライン(結の里)
12 月 15 日(水)	SAPⅡクリスマス会（３名）	志津川東第２復興住宅集会所
12 月 17 日(金)	LSA 事業定期監査（２名）	総合ケアセンター南三陸
12 月 21 日(火)	あさひ幼稚園合同クリスマス会(３名)	結の里
1 月 17 日(月)	地域支援ミーティング(１名)	総合ケアセンター南三陸
1 月 18～19 日	令和３年度 CSW 実践研修（２名）	オンライン（結の里）
1 月 19 日(水)	D-WAT 養成研修（1 名）	仙台市
1 月 20 日(木)	マネジメント向上研修会(１名)	オンライン（結の里）
1 月 27 日(木)	スマートモビリティ検証ワークショップ（１名）	南三陸町役場
2 月 1 日(火)	福祉学習推進に関するオンライン情報交換会（2 名）	オンライン（結の里）
2 月 4 日(金)	コロナ下の地域づくりをざっくばらんに考えよう(１名)	オンライン（結の里）
2 月 4 日(金)	福祉共育防災ゲーム勉強会（３名）	結の里
3 月 7 日(月)	地域支援ミーティング(１名)	総合ケアセンター南三陸
3 月 9 日(水)	被災地域全国活動管理者研修(１名)	オンライン（結の里）
3 月 18 日(金)	スマートモビリティ検証ワークショップ（１名）	南三陸町役場

❷結の里３本柱事業【地域福祉係全体】

赤ちゃんから高齢者まで誰もが気軽に集える居場所づくりを推進し、住民が主体性と役割を持って暮らせるよう、結の里運営協議会及び実行委員会を中心に活動を展開した。

1）運営協議会の開催

2）各実行委員会の開催

3）コロナ禍によるオリジナル活動

①ご自宅ワークショップの開催　②つながる電話　　③クリーンアップ大作戦等

④毎月１日に結情報発行(地域限定 1,500 部)

（1）えんがわカフェ

月曜日～金曜日の８：30～17：00 まで時短営業　【イベント時は土日祝も開店】

○月曜日　野菜の朝市/ボアラズ弁当委託販売　○火曜日　クレープ屋

○水曜日　いずみパン　○木曜日　たかみのたこ焼き　○金曜日　杏樹の森のお惣菜【移動販売（電気料）３０分５０円】

○カフェ・結ＢＯＸ利用料収入（月 100 円利用料）　現在　16 名利用

○月別売上　　R３年度１カ月平均 30,650 円/R２年度計 325,100 円

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
売上金	18,350	27,700	64,200	30,330	21,050	22,350

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
23,850	45,380	50,390	21,500	15,350	27,350	367,800

（2）イベント関係　　※イベント実行委員中心

日　　時	内　　容	人数	場　　所
4 月 16 日(金)	ちいさなたがい市(実行委員会)	63	結の里
6 月 18 日(金)	ちいさなたがい市（実行委員会)	60	志津川西第２復興住宅集会所
7 月 2 日(金)	ちいさなたがい市（実行委員会)	77	伊里前防集団地集会所
7 月 16 日(金)	ちいさなたがい市（実行委員会)	40	名足復興住宅集会所
8 月 22 日(日)	＊結の夏祭り/24 時間ﾁｬﾘﾃｨ	298	結の里
9 月 17 日(金)	ちいさなたがい市（実行委員会)	162	沖田集会所
10 月 3 日(日)	みんなの音楽祭(フリースクールみち)	191	結の里
10 月 15 日(金)	ちいさなたがい市（実行委員会)	133	中央なかよし農園
10 月 09 日(火)	＊走らないミニ運動会	187	東西・中央広場
11 月 5 日(金)	ちいさなたがい市（実行委員会)	71	港親義会館
11 月 18 日(木)	若返り教室（ママイベント)	12	志津川東復興住宅第２集会所
1 月 14 日(金)	＊我笑イベント	48	結の里
合　　計		1,342	

（３）みんな食堂　　【参加費 300 円】

＊コロナ対策によりテイクアウトやデリバリー実施。
実行委員会や地域の協力員の力を借りて運営した。

① みんな食堂　開催 11:30～13:00　参加費 300 円～(材料・保険)

日　　時	内　　容	参加人数
５月２８日(金)	油麩丼	97
６月２５日(金)	きのこのあんかけうどん＆梅おにぎり	148
７月３０日(金)	冷やし中華＆梅ジャムヨーグルト	169
９月２８日(金)	夏野菜カレー（参加費を全額募金へ）	100
１０月２２日(金)	豚丼	160
１１月２６日(金)	新米おにぎり＆豚汁	186
１２月２４日(金)	クリスマスホタテご飯＆鳥唐揚げ等	215
２月２５日(金)	中華丼＆牛乳寒天	236
３月１８日(金)	ちらし寿司＆スイーツ	257
	合　　計【宮城県共同募金事業より 150,000 円】	1,568

❸災害公営住宅 LSA 事業：受託事業

６０戸以上の災害公営住宅集会所の高齢者生活相談室に生活援助員を 1～２名配置し、個別支援、自治会運営等にかかるコミュニティ活動支援の両輪で活動を行った。

また、結の里事業を通じ、近隣住民との交流の場づくり、支え合いの浸透により住民力を発揮できるよう促しながら、個々の役割づくりやエンパワメントを推進した。

事務所　　本部事務所(結の里)・伊里前・戸倉・東東・東西・西・中央

① 職　員　　正職員　１名（兼務）　生活援助員 9 名

② 見守り　　4,824 件　　電話　　1,533 件　　来所　　6,252 件
　関わり　　45,293 件　　相談　　539 件

③ 活　動　体操・運動 10,163 名　　地域間交流 2,355 名　住宅内交流 681 件

④ 毎週火曜日朝 9 時から地域福祉係全体の朝ミーティングを開催

⑤ 毎月第 2 火曜日午後より地域福祉係全体による月例総括会議を開催

⑥ 毎月実施の社協職員全体研修(スキルアップ研修)に参加

⑦ その他の研修への参加状況

月　　日	研修内容【参加数】	実施場所
6 月 30 日(水)	未来の豊かなつながりアクション (9 名)	オンライン(結の里)
12 月 10 日(金)	被災地域事例対応検討研修会（2 名）	石巻市ﾏﾙﾎﾝまきあーとテラス

＊その他結の里イベント、みんな食堂、えんがわカフェ等に協力

❹生活支援コーディネート事業：受託事業

（第１層１名・第２層１名）

地域住民が主体となった生活支援・介護予防サービスの充実が図れること、地域の担い手を育成しながら支え合いの輪を広げていくことを主眼とし、介護保険サービスが必要になった際も地域とのつながりを切らさないようサポートし、地域住民、及び介護支援専門員等への情報提供を積極的に行っている。また、地域で実施しているサロン事業の点を線でつなぐ役割を持ち、町民がいきいき元気に暮らすため健康寿命の延命に向け、地域みんなで暮らしを支える仕組みづくりも担っている。

① 関わり団体件数　　合計 102 団体

志津川地区	入谷地区	歌津地区	戸倉地区
124	39	83	21
町内全域	NPO		
23	11		

②研修・連携内容

＊毎月１回地域包括支援センターとの月例会を開催し情報共有及び方向性を確認した。

＊隔月１回第３月曜日に関係機関との地域支援ミーティングを開催した。

＊LSA と共に週に一度の朝ミーティングを実施し情報の共有を図った。

＊隔月毎に社協内の地域福祉会議に参加し情報の共有を図った。

＊石巻市・女川町・東松島市・登米市・南三陸町の生活体制整備事業担当者合同開催による定期的な研修を実施し、近隣市町の活動状況の把握や情報の共有を行った。

＊南三陸町福祉健康まつり実行委員会事務局として連絡調整を行った。

③その他の事業実施・研修参加状況

No	月　　日	活動内容	場　所
1	5 月 25 日（火）	第 5 回さんサンポートプロジェクト（２名）	上ノ山八幡宮社務所
2	6 月 10 日（木）	歌津災害公営住宅見守り隊研修会（２名）	歌津復興交流ｾﾝﾀｰ
3	6 月 22 日（火）	第 6 回さんサンポートプロジェクト（２名）	上ノ山八幡宮社務所
4	7 月 6 日（火）	リハビリステイ樂音事業所情報交換（２名）	結の里
5	7 月 27 日（火）	第 7 回さんサンポートプロジェクト（２名）	上ノ山八幡宮社務所
6	7 月 30 日（金）	オンラインレク体操研修会①（２名）	結の里(オンライン)
7	8 月 26 日（木）	オンラインレク体操研修会②（２名）	結の里(オンライン)
8	9 月 22 日（水）	新型コロナウイルス感染症対策研修会（２名）	志津川東第２集会所
9	9 月 29 日（水）	生活支援相談員等従事者スキルアップ研修会（２名）	結の里(オンライン)
10	10 月 8 日（金）	生活支援相談員等従事者スキルアップ研修会（２名）	結の里(オンライン)
11	10 月 18 日(月)	介護支援専門員情報交換会（２名）	生涯学習センター
12	10 月 20 日(水)	支え合いを広げる住民主体の生活支援フォーラム（２名）	結の里（オンライン）
13	10 月 26 日(火)	自主活動グループ交流会（歌津地区）（２名）	歌津公民館

14	10 月 28 日(木)	自主活動グループ交流会（戸倉地区）（２名）	戸倉公民館
15	15 月 11 日(木)	暮らしとコミュニティ推進部会検討会①（２名）	総合ケアセンター南三陸
16	11 月 16 日(火)	生活支援担い手養成講座打合せ（２名）	総合ケアセンター南三陸
17	11 月 17 日(水)	自主活動グループ交流会入谷地区（２名）	入谷公民館
18	11 月 18 日(木)	自主活動グループ交流会志津川地区（2 名）	ベイサイドアリーナ
19	11 月 25 日(木)	石巻圏域生活支援 CO 情報交換会(1 名)	東松島市
20	12 月 10 日(金)	被災地域対応事例検討研修会（２名）	石巻市まきあーとﾃﾗｽ
21	12 月 16 日(木)	暮らしとコミュニティ推進部会検討会②（２名）	総合ケアセンター南三陸
22	12 月 22 日(水)	オンライン通いの場リモート視察研修会（２名）	韮の浜コミュニティセンター
23	1 月 12 日(水)	暮らしとコミュニティ推進部会事務局打合せ（2 名）	総合ケアセンター南三陸
24	1 月 21 日(金)	東北圏地域づくりコンソーシアム/ 東北まちラボヒアリング（1 名）	結の里
25	2 月 4 日(金)	宮城発福祉共育防災ゲーム研修会（２名）	結の里
26	2 月 10 日(木)	第 9 回さんサンポートプロジェクト（1 名）	上ノ山八幡宮社務所
27	3 月 7 日(月)	暮らしとコミュニティ推進部会事務局打合せ（２名）	総合ケアセンター南三陸
28	3 月 7 日(月)	第 10 回さんサンポートプロジェクト（１名）	上ノ山八幡宮社務所
29	3 月 30 日(水)	志津川公民館との事業打合せ（２名）	生涯学習センター

３－３在宅福祉事業　　介護福祉課通所介護事業

❶南三陸町デイサービスセンターうたつ（通所介護・第１号通所事業）

（１）全体取り組み

①利用者個々の身体状態に合わせ通所介護計画を作成、それに基づき現在の身体機能が維持・向上出来るよう定期的に上下肢運動や筋力低下予防に取り組んだが、中には機能低下した利用者もおり今後も状況に合わせ、本人、家族の意向を聴きながら継続して取り組んで行く必要がある。

（２）目指す職員像への取り組み

知識及び技術の向上を図るため職員全体研修や事業所内でのヒヤリハット、事故防止対策を職員間で話し合い再発防止に努めた。

職員間の連携や仕事のしやすい雰囲気を図るため、個々それぞれの意見を組み入れながら取り組んだ。

（３）重点取り組み

利用者様の身体状況に合わせ、楽しみを持って参加出来るプログラムを作成、趣味を生かし畑で野菜作りや収穫した野菜を使い調理、干し柿作りなどを行った。また、月に１回昔の喫茶店を真似てカフェを開き、寛ぎの時間を過ごして頂いた。職員全体研修で修得した知識や技術を職員間で話し合いながら実践に努め、仕事がしやすい雰囲気作りも心掛けた。

（４）活動の様子

❷南三陸町デイサービスセンターいりや（地域密着型通所介護・第１号通所事業）

（１）全体取り組み

①地域包括支援センターや各居宅介護支援事業所に、利用中の利用者様の身体状況や様子又自宅であった様子等を報告し常に情報共有を行った。

②当日の利用者様の前回利用時の状況や自宅からの連絡等を朝のミ―ティングで情報共有し、職員間で周知した上でサービスを提供した。

③多くの言葉、長い説明をせず、単発に解かりやすく理解出来るように職員間で心掛けた。

④帰りの送迎後一日の振り返りの為ミ―ティングを実施した。

⑤コロナ禍によりボランティア等の慰問は遠慮して頂き、地域交流は消防訓練のみ実施した。

（２）目指す職員像への取り組み

利用者一人一人の思いや考え目標を把握し、個々にあったサービスが出来るように、常に職員間で相談が出来るような環境作りに取り組んだ。

職員全員が元気と笑顔を絶やさず共感や傾聴を基本としたコミュニケーションを心掛けた。

活気に満ちた温かみのある和やかな雰囲気でのサービス提供に努めた。

（３）重点取り組み

個別活動を重視した。出来ること、昔趣味だった事、夢中になれる事、利用者様の目標や意向を聞きながら、利用者一人一人のプログラムを作成し実施した。形になった時の達成感を味わって頂くような工夫も行った。

（４）活動の様子

❸南三陸町デイサービスセンターとぐら（地域密着型通所介護・第１号通所事業）

（１）全体取り組み

①利用者一人一人の要望や身体状況を職員間で話し合い、プランター作業や編み物など、個人に合った個別の活動を考え提供した。

②地域交流は、コロナの影響で積極的な活動は出来なかったが、消防訓練の時に近隣の方々３名に参加頂いた。

（２）目指す職員像への取り組み

コミュニケーションを取ることが難しい方へはジェスチャーを交えたり、筆談で情報や話題提供するなどの工夫をし、活動を楽しんで頂けるよう努めた。また動作時不安を与えないようトイレ介助や入浴介助の仕方、着脱方法など職員間で話し合い統一した。

（３）重点取り組み

歩行や軽運動など、個々に多くの活動が出来るように個別活動を重視した。

利用者様の話をゆっくり聞いて、しっかりコミュニケーションが取れるように職員間で話し合い取り組んだ。

（４）活動の様子

❹南三陸町デイサービスセンターしづがわ（地域密着型通所介護・第１号通所事業）

（１）全体取り組み

①事例やヒヤリハットの振り返りを行い、状態等変化時は早めの対応、早めの受診、誠意ある対応を心掛けることを再確認、周知し、再発防止に繋げることが出来た。

②利用者様やご家族様の意向に耳を傾ける姿勢、否定せず一旦受け止める姿勢を心掛けた。

③職員間のコミュニケ―ション、疑問に思ったことは声に出し話し合い改善策を見つけることが出来た。

④感染防止対策を徹底しながら園児や小学生との交流会を実施し、社会的孤立の軽減に努めた。

（２）目指す職員像への取り組み

業務優先の流れにあり、利用者本位、利用者優先の再確認、再認識から取り組んだ。利用者１人ひとりの心身状況の変化に合わせた行動や対応ができるレベルに達することはできなかったが、利用者様がまた来たくなるデイサービスを目指し、今後も職員間での連携を密に、個々の知識や技術向上に努めたい。

（３）重点取り組み

明るい雰囲気作り、利用者様とのコミュニケーションを重視した。

環境を整備し動線の確保に努めた。

（４）活動の様子

《通所介護事業利用実績》

デイサービスセンターうたつ利用者			デイサービスセンターいりや利用者		
介護度	延人数		介護度	延人数	
	３年度	２年度		３年度	２年度
要介護１	９１５	７９３	要介護１	１，９０２	１，８６８
要介護２	１，３０３	９７８	要介護２	１，２４０	１，２９２
要介護３	１，２６０	６７５	要介護３	４００	３２９
要介護４	１４０	２３９	要介護４	６７４	４０２
要介護５	８０	２５３	要介護５	１１	０
要支援１	２７９	２２３	要支援１	１３８	１６０
要支援２	１５７	２００	要支援２	１	３４
事業対象者	４７	２４７	事業対象者	８９	１０５
合　計	４，１８１	３，６０８	合　計	４，４５５	４，１９０

デイサービスセンターとぐら利用者			デイサービスセンターしづがわ利用者		
介護度	延人数		介護度	延人数	
	３年度	２年度		３年度	２年度
要介護１	６１３	７３１	要介護１	１，２７３	１，９０３
要介護２	８６９	１，０２７	要介護２	８５１	１，００８
要介護３	４６９	５４２	要介護３	４７１	５１６
要介護４	１６７	２５２	要介護４	２３８	３０９
要介護５	１４	１９４	要介護５	４４	３６
要支援１	７５	７９	要支援１	５４	１３６
要支援２	３２	１８４	要支援２	４１１	４８７
事業対象者	３２	５６	事業対象者	１０６	１５１
合　計	２，２７１	３，０６５	合　計	３，４４８	４，５４６

※全事業所、感染予防対策を徹底し、コロナ禍においても安心して利用できる施設づくりに努めた。

感染予防対策として、職員の朝の体調確認・検温から始まり、送迎時は車輌内の換気、利用者の体調確認・検温・マスクの着用・消毒等、送迎後は車輌内のアルコール消毒の徹底、定期的に室内の換気を行い、手指消毒・マスクの着用の声掛け、手の触れる部分の消毒等こまめに行った。休息後枕カバーの交換を毎日行い、寝具を消毒し定期的にシール類の交換を行った。

３－３在宅福祉事業　　介護福祉課居宅介護支援事業

南三陸居宅介護支援センター

（１）全体取り組み

①コロナ禍において、感染予防対策をしっかり実施。面談による情報共有の場面を控えるため、情報共有のツールを活用（電話・情報通信機器の活用等）し、医療機関始め多職種連携が継続して図れるよう工夫できた。

②様々な制限ある中でも、介護支援専門員一人一人がこれまで培ってきた知識や経験を基に、効率的かつ重要な領域の情報を重点的に収集できるよう調整。要介護高齢者ご本人とその家族の生活の継続を支えるため、意向に寄り添い、丁寧に生活の支障を分析。サービスに繋ぐだけのものと軽んじる事なく、専門性を活かし、お一人お一人の意向にそったケアプランを、心を込め作成した。

（２）目指す職員像への取り組み

誰にでもわかりやすいケアマネジメントを実践していくため、確信を持って正しい情報を説明できるようでなければならない。

介護保険法に基づく算定要件の厳守を常に意識し、一人一人が常に自身の調整に緊張感と責任を持ちプラン作成にあたっている。そのため、チーム一丸となり、それぞれ持ち合わせている知識や経験知が、法律上本当に正しく理解し実施できているのか、スタッフ間全員で確認する作業を定期的に行ってきた。

また、インターネット等活用し動画研修を定期的に実施、リモート研修を数回体験するなど幅広く学ぶ。恐る恐るでも、チャレンジしていかないと、時代の流れについていけないと実感。スタッフ全員が自然に使いこなせるようにしておけるよう、次年度もネットを介し情報提供や共有、研修等行う機会を多く持つよう計画していく。コロナ禍に於いて個別研修計画に沿った実施が不十分だったので次年度ではそれぞれの目標に沿った研修を実の有るものできるようにしたい。

特定事業所加算算定要件の一つ。専門的知識や技術向上のため計画的な研修の実施がある。３年度は毎月必須研修を含む内容で実施でき、意識知識の向上につながっていると感じる。次年度も年間研修計画に入れ継続していく。さらに、ケースカンファレンスやケアプラン点検等の実施も内容工夫して実施していく。

（３）重点取り組み

コミュニケーション。言葉で伝え情報を共有し、全員で確認、協議する事を徹底してきた事。事業所内に留まらず、社協スタッフ間や多職種間も同様に。

事務分担し、１日、１週間、１か月の流れや行う事を全員で共有し、変更時は必ず全員に諮り決定するしくみを実施した事で、お互いその都度確認しなくても、スムーズに業務遂行できた。それぞれが滞りなく必要な事をその都度行えてきたと思うし、暗黙の了解（お互いの動きを把握し任せる）は責任感と信頼関係を保つ為に非常に大事な事だと思っている。この流れは変えず次年度も継続したい。

（4）担当する利用者様

《居宅介護支援事業実績》

【居宅介護支援費Ⅰ】

介護度及び単価	件　数	
	３年度	２年度
介護１～２　@10,760 円	８７６件	１，０４１件
介護３～５　@13,980 円	３９７件	４３２件
月遅れ分	１３件	１３件
初回加算　@3,000 円	３６件	３５件
入院時情報連携加算Ⅰ　@2,000 円	２６件	３０件
入院時情報連携加算Ⅱ　@1,000 円	８件	７件
退院・退所加算（連携Ⅰ~連携Ⅲ） @4,500 円～@9,000 円（5 段階あり）	４件	１１件
通院時情報連携加算　@500 円	８件	０件
ターミナルケアマネジメント加算　@4,000 円	０件	０件
特定事業所加算（Ⅱ）　@4,070 円	１，２８６件	１，４８６件

３－３在宅福祉事業　　介護福祉課訪問介護事業

南三陸町ヘルパーセンターまごころ（訪問介護・第１号通所事業）

（１）全体取り組み

①関係機関との連携や報告を密に行った。

②コロナ感染予防対策に努めた。

③入所に繋がる利用者様も在宅生活を終えるその日まで、安心して過ごせるよう職員一同で取り組んだ。

（２）目指す職員像への取り組み

コミュニケーションを大切にしながら、情報共有しサービス提供が出来た。

自立した日常生活や利用者様の目標が達成できるチームワーク作りは今後も継続が必要である。

（３）重点取り組み

内部研修、コロナ感染予防対策に力を入れた。手洗い、うがいの他フェイスシールドを使用してのケア、手指消毒、使用バックの消毒、各自兼用をしないようマスク、ディスポ、感染予防対策グッツを常時利用者様の状況に応じて対応できるよう持参した。室内、上履き、予防衣着用、利用者様やご家族様の体調等確認しながら訪問を行った。

（４）ケアの様子

《訪問介護事業利用実績》

介護度	延人数		介護度	延人数	
	３年度	２年度		３年度	２年度
要支援１	１６	１１	要介護３	１，７５８	１，３７９
要支援２	６６	９８	要介護４	５７３	５１６
要介護１	４８８	２７１	要介護５	４９９	７２８
要介護２	４１２	３５６	合　計	３，８１２	３，３５９

３－４障害福祉サービス事業

南三陸町ヘルパーセンターまごころ（居宅介護・重度訪問介護）

コロナ感染拡大により３か月に１回の保健師等との会議は実施出来なかったが、毎月のモニタリングを提出、必要にて連絡や報告、担当者会議等で利用者の情報を共有した。

《利用実績》

障害区分	延人数	
	３年度	２年度
知的障害	８８	８６
精神障害	１６９	２５３
合　計	２５７	３３９

３－５訪問介護事業介護保険外サービス事業

体調確認、状態の観察、おむつ交換、皮膚状態の観察、排泄（尿量、尿色、排便量等）の確認。ドライシャンプー、部分清拭、更衣交換、ポジショニング、室内換気水分の声掛けなど実施。必要時、ご家族、相談支援センターへの報告。

利用者　１名

事業報告の附属明細書

令和３年度事業報告の内容に補足する重要な事項がないため、

事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人南三陸町社会福祉協議会